

公園のススメ 02

【チルな公園の過ごし方】

written by ウイングパーク管理責任者 ムラオカ

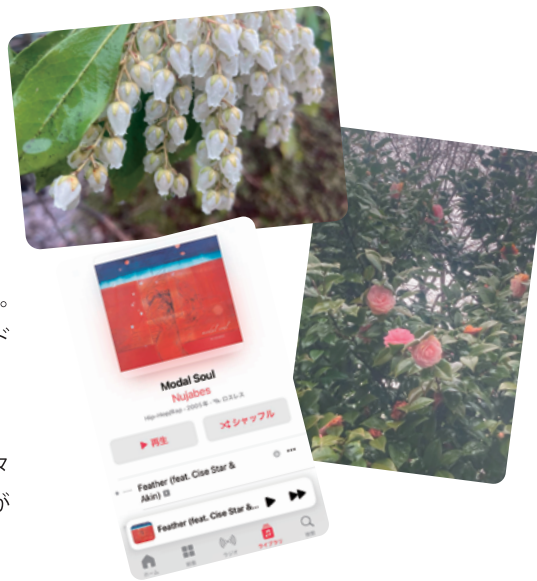
時の流れを気にせず、自分のペースで過ごす時間は贅沢ですね。
そんなおススメの Chill な過ごし方を2つご紹介します。

●jazzy hipop を聴く

jazzy hipop とはジャズのコード進行、リズムをヒップホップのビートと融合させたスタイルです。
jazzy hipop を代表する Nujabes（ヌジャベス）というアーティストの曲はメロウで夢幻的なサウンドが広がり、まさにぼーっとするのに最適です。

●自然を楽しむ

公園内には春の桜はもちろん、ケヤキの新緑、秋の紅葉、冬もサザンカやアセビといった季節折々の草花を楽しむことができます。キツツキの仲間のコゲラやタカの仲間のツミをはじめ多くの野鳥が市内に生息しているので鳴き声を聞いたり、観察しながら散歩したりするのもチルいですね！



✈ 世界の公園事情

written by INOUE

【ポートランド編 ー自分のまちは自分でつくるー】



アメリカのポートランドで始まった「シティ・リペア」は、市民が主体的にまちづくりに関わる活動であり、公共空間の活用や環境改善を通じて、コミュニティの再生と活性化を目指すものです。道路の穴埋め、交差点の色彩豊かなアートペイント、住民が共同で管理するコミュニティガーデンの造成、持続可能な生活を目指すパーマカルチャーの推進、そして住民が憩い、交流するためのベンチの設置など、その活動は多岐にわたります。

この活動のポイントは、市民と行政が対等なパートナーとして協力し、地域住民のニーズに根ざした、きめ細やかなまちづくりを推進することにあります。行政は、市民の活動を支援し、必要な許可や資源を提供することで、市民の主体的な活動を支え、共に地域課題の解決を目指します。住民自身がまちづくりに参画することで、地域への愛着と当事者意識が育まれ、持続可能で活気あふれるコミュニティが育つのではないのでしょうか。



おもしろそうだな、
自分もやってみたい
と思ったら…

このマガジンの内容に共感したり、公園での過ごし方に興味があればぜひポットラックプロジェクトにご参加ください。これからも「トーク」「ワークショップ」「イベント」を定期的で開催していきます。羽村市のウェブサイトへのアクセス、ライン登録をお願いします！このマガジンの感想や便利もおまちしています♡



ポットラック
プロジェクト

羽村市公式サイト
はこちら！



ポットラックプロジェクト
公式LINEはこちら！



「こんなことが
やってみたい」が
あれば公式LINEに
メッセージを！

本事業に関するお問い合わせ

羽村市「3つプロジェクト」
(事務局：羽村市まちづくり部土木課公園管理係)
042-555-1111 (内線 282・283)

ポットラック
マガジン

Potluck Magazine

公園をいつもの場所に。
楽しみを持ち寄る
パークライフ マガジン

vol. 02



たの
愉しみを、
持ち寄る。

最近ハマっていることや、興味があること、
ゆったり過ごすための日課…
それ、公園に持ち寄ってみませんか？
楽しいことが、
もっと楽しくなるかも。

焚き火から、 工作、楽器の演奏まで。

みなさんは最近、楽しんでいることはありますか？

春ははじまりの季節。楽器をはじめて、お菓子づくりをしたり、遠出をしてみたり、新しい挑戦をする人もいるかもしれませんね。

少しの「チャレンジ」や趣味、ハマっていることなどの日頃の「愉しみ」を、今年の春は公園でやってみませんか？

例えば、緑の中でハンモックにゆられながらの読書やキャンプ道具のお試し、ウッドデッキをステージに見立てて楽器の演奏など。

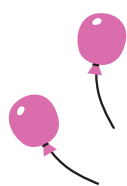
場所を公園にするだけで、気分が変わったり、ちょっとしたチャレンジができたり。

その様子を見た通りすがりの人と会話がはじまったりするかもしれません。

みなさんの、「こんなことできるの?」「こんなことやりたい!」を教えてください。

「あったかいから、
外で本を読んでみたいな」

新緑の中での読書なんてどうでしょう？
子ども広場にはテーブルや椅子が設置されています。もちろん、自分の好きな椅子を持ち込んでもOK。
不要になった絵本などを持ち寄って交換会や、人工芝エリアで寝っ転がっても良いかもしれませんね。



「最近練習しているダンス、
発表とかできるのかな？」

ポットラックピクニックでは定期的にオープンマイク（誰でも演奏やダンスなどを発表できる場）を実施しています。あなたの「好き」や「得意なこと」をぜひ披露してください！



「公園に落ちている松ぼっくりや
どんぐり、使えないかしら？」

落ちている木の実や葉っぱなどを使ってのリースづくりや、工作体験をしている方もいます。公園の管理者と相談して、剪定された不要な木々や竹を使ったことも。材料は相談しながら集めて、子どもたちと一緒につくったりするのも素敵ですね。ものづくりがお好きな方におすすめの公園の愉しみ方です。



「いざという時のために、
防災について考えたいわ」

公園は避難場所や一時集合場所に指定されています。災害時、もし水が出なかったら…、寒い冬の避難だったら…、災害時もほっとできる場所をつくるには…など防災について、小さくトライしながらお話をする防災カフェという取り組みがはじまっています。公園の水を濾過してみたり、公園に生えている草木の葉っぱを乾燥させてお茶にしたり、火を起こしてみたり、楽しみながらぜひご参加ください。



「地域と関わって、
何かはじめてみたいな」

個人だけでなく、市内の企業などが地域活動として公園でプログラムを実施する動きもあります。遊具メーカーの方が子どもたちと新しい遊具を考えたり、市内の飲食店などがイベントにあわせて飲食を提供したり。公園には子どもたちをはじめ、様々な人が遊びに来るので、事業の周知や社会活動の場としてもぴったりです。

「これも公園でできるかな？」

というのがあればお気軽に LINE ください

(メッセージは運営者だけに通知され、他の人には送られません)

